



間取りでは家族(夫婦と子ども2人)それぞれの居場所づくりを重視。2階には書斎と2つの子ども部屋を設け、奥様のために1階キッチン奥のパントリーにはカウンターをつくりました。敷地は比較的余裕がありますが、住宅街で隣の家も近いので、600mmの軒の出で視線を遮ります

建築費用
3,600万円台
(坪単価110万円台)

助成金
210万円
建物全体 **210万円**
太陽光発電 なし

郊外の私鉄駅にほど近い住宅街に建つ木造2階建て住宅。「標準よりもさらに断熱性能の高い家が欲しい」という高性能住宅に知見の深い施主の要望に応えるため、断熱性能を高めた上で地域特性と周辺環境に配慮した住宅です。近年の東京の酷暑を考慮し、冬の日射取得よりも夏の快適性を優先して設計されています。

壁は高性能グラスウール24K105mm、屋根はセルロースファイバー 60K180mmを施工。さらに断熱性能を高めるために、壁と屋根はフェノールフォーム(壁30mm・屋根60mm)で付加断熱。窓はトリプルガラスにして性能を高めるとともに、南面は酷暑対策のため、あえて日射遮蔽型のガラスを選択しています。防音対策にも効果的です。これらにより、水準3が求める基準を大きく超える断熱性(UA値0.31W/m²K)を達成しています。

エネルギー消費量の大きな給湯器は電気・ガスのハイブリッド式。暖冷房は壁掛けエアコンで、1階はリビングに1台、2階はロフトと寝室に1台ずつ設置しています。2階の2つの子ども部屋はロフトでつながっているため、部屋ごとのエアコンは不要となっています。

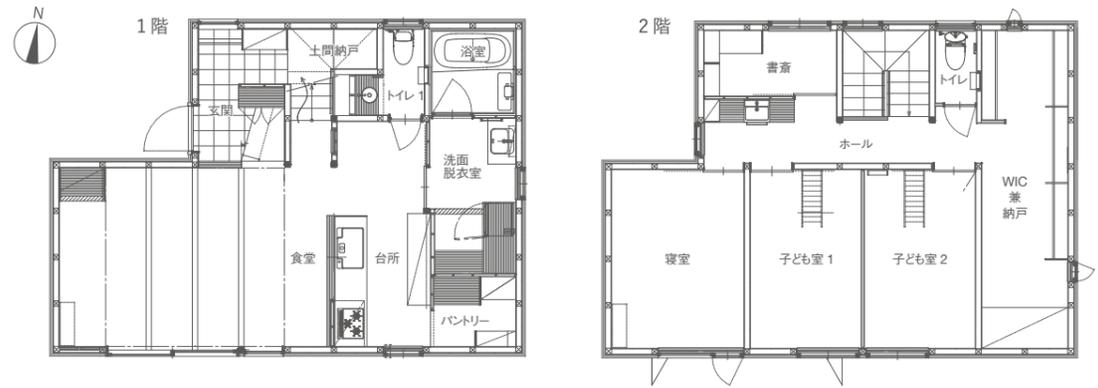
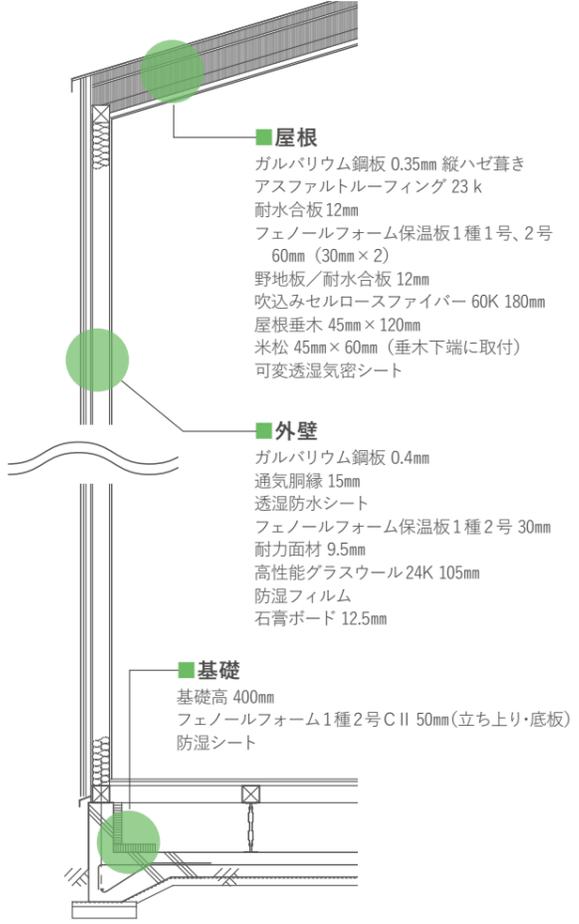
施主のこだわりによる 超高断熱ゼロエミ住宅

弊社の住宅は、標準仕様でほぼ水準3を達成可能で、東京ゼロエミ住宅認証も全棟取得しています。この住宅では、付加断熱とトリプルガラスの窓を使用したため、給湯器のエネルギー消費量を考慮するだけで水準3が達成できました。弊社では床下を乾燥させ、シロアリ被害を防ぐための床下換気扇を設置することが多いですが(この住宅にも設置)、これにより空気の流れができ、エアコン1台で十分快適な室温とすることにも繋がっています。



設計者の言葉
ウッドシップ [小平市]
設計監理 オフィスチーフ
齊藤 亜里沙さん

[建物の断熱仕様]



DATA

<p>[建築概要] 設計・施工：ウッドシップ株式会社(小平市) 建設地：東京都小平市 竣工：2022年12月 敷地面積：146.69㎡ 延床面積：103.50㎡ 構造：木造2階建て</p>	<p>[断熱仕様] 屋根断熱：セルロースファイバー 60K180mm+ フェノールフォーム保温板1種1号 60mm 壁断熱：高性能グラスウール24K105mm(フィルム付)+ フェノールフォーム保温板1種2号 30mm 床断熱：セルロースファイバー 60K180mm 基礎断熱：フェノールフォーム保温板1種2号 50mm(基礎内) UA値：0.31W/m²K η AH値：1.0 η AC値：1.0 C値：未測定 窓：LIXIL EW(樹脂サッシ・トリプルガラス) 玄関ドア：LIXIL グランデル2(熱貫流率1.28W/m²K)</p>	<p>[設備仕様] 空調：壁掛けエアコン(7.0kW)3台 (1階1台、2階2台) エネルギー消費効率の区分：区分(い) エアコンの省エネ基準(2010年) 達成率：☆☆☆☆ 換気：第三種換気 給湯：電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用給湯器 節湯水栓：なし 照明：全室LED 再エネ設備：なし BEI：0.59</p>
---	--	---

